朝晩冷え込んで参りました。今月はバス旅行に出かけますので定例聞法会はお休みです。13名と少ない参加ですが、出かけられることを喜んで行って参ります。

さて最近気づかされたことがあります。私たちは浄土を見失っているので苦があります。浄土を見失っているというのは、漠然として自覚できませんが、苦しいと感じるとき、それが浄土を見失っているということだと思い出してください。あれがいやだ、うっとうしい。そう感じるとき、浄土を見失っているのだと。自分を苦しめている人や出来事は、自分に浄土を知らせるきっかけとなっているのだと仏法は教えて下さいます。浄土に気づきさえすれば、煩わしい心は消滅し、何も言うことが無くなり、いやなことはそのままに、心静かに日暮させていただける。でもそういう喜びは一瞬ですぐまた消えます。煩悩は深いのですから。でもそれではダメだと落ち込まないで、だからこそまた聞法、その繰り返しです。その連続が人生を深め、歳を重ねる意味と実感になります。そういう歩みのことを往生といいます。やがてこの身が最期を向かえこの世を去るとき、成仏という完成をもたらせてくれると信じさせられます。無明の闇を生きています。光明を蒙りながら歩ませていただきましょう。　　　　合掌